



## 伸縮式強カタイプ (AP)

型式	全高	後支柱の伸縮		重量	定価	税 抜
		縮める	伸ばす			
AP-3	90cm	15cm	0cm	3.5kg	35,090円	31,900円
AP-4	120cm	15cm	0cm	4.2kg	41,800円	38,000円
AP-5	150cm	30cm	15cm	5.1kg	48,730円	44,300円
AP-6	180cm	30cm	15cm	6.0kg	55,330円	50,300円
AP-7	210cm	45cm	30cm	7.5kg	62,700円	57,000円
AP-8	240cm	60cm	30cm	8.5kg	70,290円	63,900円
AP-9	270cm	75cm	30cm	9.5kg	77,000円	70,000円
AP-10	300cm	90cm	30cm	10.5kg	82,940円	75,400円
AP-11	330cm	90cm	30cm	11.5kg	90,310円	82,100円
AP-12	360cm	90cm	30cm	12.5kg	97,680円	88,800円
AP-13	390cm	90cm	30cm	13.5kg	147,180円	133,800円
AP-15	450cm	90cm	30cm	15.5kg	173,580円	157,800円

アルステップの全高は実際にご使用になる70°に開いた状態の高さで表示してあります。全長は全高×1.06でおおよそ算出できます。

(後支柱は15cm間隔で伸縮) 最大使用荷重 100kg (全機種共通)

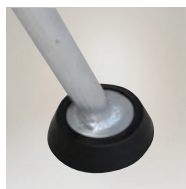
※設置寸法(W) : 3尺=約82cm、4尺・5尺=約113cm、6尺=約122cm、  
7尺・8尺=約135cm、9尺~12尺=約142cm、  
13尺・15尺=約160cm

**運賃** 東北・関東・中部・近畿へ1台で元払い 左記以外の地域および離島は運賃別途です。  
※3脚のAP-13、AP-15は、通常運賃(路線便)では配送できません。ただし、各都道府県に5ヶ所前後ある西濃運輸様のターミナルまでは商品が届きますから、そちらで引取りして頂ければご購入可能です。

もし、配送をご希望の場合、ターミナルからの別途運賃(チャーター便代)を申し受けさせていただきます。ただし車が入りできない場合は配送できません。

注) その他の配送条件は3ページをご覧ください。

### 別売部品 アルステップ用ゴム製脚カバー



- コンクリートやアスファルトの上でも滑りにくく、また「キーン」という耳障りな音も防げます。
- 室内でのご使用时、床や壁などを傷つけません。

**AS-GC** 定価(1個) 2,310円 (税抜 2,100円)

**運賃** 60個で元払い(離島は別途)(15個梱包)

※アルステップAP・AMPIに取付けできます。

## アルステップおすすめのポイント



ラベル

ポイント1

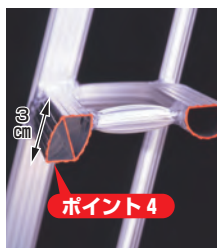
ラベル



ポイント2



ポイント3



ポイント4



ポイント5



ポイント6

**ポイント1** 新しくロープフックが付きました。3脚の上段(全高180cm以下の3脚は天板を含め上から2段目・210cm以上は上から2段目、3段目)で作業する場合や、天板をまたいで補助ステップに乗る時はこのロープフックを利用し、脚立を頑丈な立木などと丈夫なロープで固定してください。

**ポイント2** 最も酷使される上から2段目と3段目のステップ部には太い25.4ミリのパイプを採用。また、平らなステップ面は長時間作業でも疲れにくいです。

**ポイント3** 荷重負担の大きい後部支柱の上部をダブルパイプ構造でガッチリとガード。

**ポイント4** 各段の桁材(一部除く)には、中リブ付きのヒシ形パイプを使用していますから、タワミに強く頑丈です。

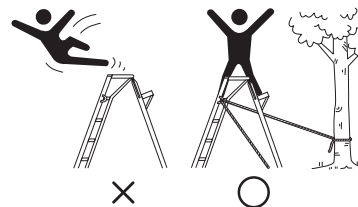
**ポイント5** 6尺以上のモデルの下から1段目と2段目(6尺は下から1段目のみ)の桁材には、中リブ付きの大型で肉厚のヒシ形パイプを採用していますから、さらにタワミに強く頑丈です。

**ポイント6** 支柱と一体式のロックレバーピンはワンタッチで後支柱が伸縮し傾斜に対応します。また、ピンの紛失がありません。

### 使用上の注意 アルステップ全機種

禁止

- 天板には絶対に立たないでください。天板に立つと本体の左右方向への転倒の恐れがあります。



転倒・転落の防止

- 本製品の使用時で、特に天板をまたいで補助ステップに乗る時や、3脚の上段で作業する場合は転倒防止のため三脚を頑丈な立木などと丈夫なロープで固定し、さらに用心棒(57ページ参照)の使用をおすすめします。天板をまたいで補助ステップに乗る時は、ヒザの内側でしっかり天板をはさみ、作業は両手が自然に届く範囲内に限定し、上体を乗り出さないでください。また、補助ステップに全体重をかけないこと。

※くわしくは取扱説明書をよくお読みください。